

かざぐるま

ひと 未来 輝いて

2021 March

NO. **104**



つばさ利用者の作品

特集

- ワークショップ明星園共同生活事業所
「だいのめホーム」「ときめきホーム」オープン
- サポートセンターゆあーず移転
- 障害者支援施設山形県梓園改築工事開始

トピックス

- マスク及び除菌ウェットティッシュをいただきました。
- 新しい研修スタイルへの挑戦
- 各施設の取組み
- お知らせ

「だいのめホーム」「ときめきホーム」オープン

「新ホームの開設を迎えて」

令和2年8月「だいのめホーム」、令和3年1月「ときめきホーム」と2つのグループホームを開設いたしました。「だいのめホーム」には山形市周辺の福祉ニーズに対応したいとの思いから、短期入所事業所及び共同生活事業所の事務所を併設し、新たなグループホームが完成いたしました。

この地にコロナ禍の中、順調に開設できたのも、施主様はじめ関係者の方々の障がい者福祉へのご理解とご協力があったからこそと感謝申し上げます。

入居された方は、障害者支援施設山形県総合ココニー希望が丘からの地域移行を希望された方々です。障がいがあっても生まれ育った地域の中で当たり前の生活がしたいという想いを実現するため山形のこの地で、グループホーム生活を選択されたのです。利用された方々は、「個室で自由な時間がうれしい」「日中活動への車が楽しい」「エアコンがあって安心した」「ゆっくりできるお風呂が二つあり幸せだ」「家族の面会が多くできてうれしい」などの感想を話してくれました。

日中活動に出かける時の「行ってきます」「おかえりなさい」の当たり前の会話がこんなにもご本人達には、新鮮でうれしいものであることを気づかせてくれました。

利用者のそんな想いに寄り添いながら、私たちスタッフは夢実現のために安心して安全な生活を送れるように手助けしてまいります。

また、短期入所事業所では、利用者の支援の他、ご家族の「レスパイト・ケア」の視点に立ち運営してまいりたいと思います。

誰もが人生は一度きりです。その人生をその人らしく、笑顔で生活できるようにこの大野目の地域の中で、職員一同楽しく明るく利用者と共に生活していきたいと思っております。



ワークショップ明星園共同生活事業所 所長 色摩 幸子



特集

サポートセンターゆあーず移転

「サポートセンターゆあーず移転 ～新天地での更なる飛躍を！～」

去る令和2年11月末に無事移転を終え、相談支援事業所ゆあーず、多機能型事業所まある、地域生活定着支援センターから構成されるサポートセンターゆあーずはリスタートしました。場所は山形市宮町にある旧病院の1～2階になります。屋内は利用者のニーズに合わせてリノベーションしており、当時の建物を知る方からは「中は丸つきり違うね!」とコメントをいただいています。

新天地における一番の目玉は、「今後ニーズが増えていく」と考え、まあるに導入した入浴設備になります。

入浴サービスのみならず「我々に求められているものは何か？」をイメージしながら、職員一同、力を合わせて地域から必要とされる存在となれるよう努力していきたいと思えます。

サポートセンターゆあーず 所長 長谷川 智

相談支援事業所ゆあーず紹介

障害福祉サービスを利用する際は「サービス等利用計画」が必要になります。この計画書作成を初めとして、サービス利用に関する全てのマネジメントを行うのが相談支援事業所の役割になります。これまでの登録者数は900名を超え（年間の実利用者数は500名以上）、契約者数は山形市内の相談支援事業所の中でもトップクラスと言えるかも知れません。計画相談の他にも山形市、天童市、山辺町から「障害者相談支援事業」を受託しており、地域で生活する上での様々な相談などに対応するため、職員は日々奮闘しているところです。



多機能型事業所まある紹介

山形県総合コロニー希望が丘から地域生活移行してきた方々の日中活動の場として開設されたのが始まりで、平成23年度から現行の多機能型事業所になっています。一人ひとりに寄り添いながら、社会や人々と繋がっていただけるようお手伝いしています。

この度の移転によって、活動室はこれまでと比べて約1.5倍の広さになり、安全性・快適性が格段にアップしました。そして最大のセールスポイントと言えるのが入浴設備です。今後、ニーズが高い入浴サービスを順調に展開し、地域の期待にしっかり応えられる事業所にしていきたいと思えます。



障害者支援施設山形県梓園改築工事開始

梓園は障害者総合支援法に基づいて、主に身体に障がいがある方へ施設入所（定員 40 名）、生活介護（定員 55 名）、自立訓練（機能訓練 定員 10 名）のサービスを提供しています。自立訓練（機能訓練）は、従来の身体障がいだけでなく、難病や高次脳機能障がいがある方に対しても理学・作業療法による充実したリハビリを行い、ご本人の望む地域での自立した暮らしが実現できるように関係機関と密に連携を図りながら支援に努めております。

山形県梓園 園長 鈴木 ひとみ

起工式、進捗状況

昭和48年米沢市南東部に梓園は開設されましたが施設の老朽化が進み、今年度より同じ敷地において全面改築工事が始まりました。令和2年9月10日起工式を終え、現在は居住棟の一期工事が進められており令和5年度完成予定です。建物の構造は鉄骨造平屋建てであり、これまでの多床室から40床すべて個室対応可能となり、医療的ケアにも対応できる短期入所用居室3部屋を確保しております。通所棟には作業・理学療法の専門的機能を強化するリハビリ室や福祉避難所としても利用可能な多目的ホールを設けるとともに、新たに相談支援事業所を併設し、地域につながる重要な拠点として役割を果たしていきたいと考えています。今後は個別の障がいやニーズに合った支援プログラム、充実したリハビリや看護サービスの提供を行い、ご利用される皆様やご家族に利用してよかったですと思っただけのような「新梓園」を目指していきたいと思っております。



株式会社東流社様からマスク及び 除菌ウエットティッシュをいただきました。

株式会社東流社様から、当法人に不織布マスク（50枚入り）2,500箱及びアルコール除菌ウエットティッシュなど150ケースをいただきました。

去る令和3年1月28日に、当法人本部にて株式会社東流社 執行役員 営業本部仙台支店長 小石川公雄様から飛塚理事長に目録が手渡され、飛塚理事長から感謝状をお送りしております。東流社様は日用品関係の物流会社で、新型コロナウイルス感染症予防対策に日々努力している社会福祉施設に対して、地域貢献の一環として協力することが、寄附の目的であるとのこと挨拶がありました。それに対し飛塚理事長から謝辞がありました。

ご寄附いただきましたマスク等につきましては、当法人各施設事業所にて、新型コロナウイルス感染症予防に有効活用させていただきます。

株式会社東流社様、誠にありがとうございました。



新しい研修スタイルへの挑戦

事務局キャリア開発課

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して研修を実施するため、私たちは様々なアイデアを出し合い、シミュレーションを重ねたうえ、開催にこぎつけました。

山形県主催の「サービス管理責任者研修及び児童発達支援管理責任者研修」及び「相談支援従事者研修」では、集合研修（一部講義のみ動画配信）を行いました。チェックリストで受講者の体調確認などを行う他、マスク着用を義務付け、手指のアルコール消毒や換気を徹底し、また、受講者同士の距離をなるべく離し、間には飛沫防止スタンドを置いて対策を講じました。さらに、講師との打合せについてもWeb会議とするなど、感染防止に努めました。

一方、法人内部研修では、一切集合研修は行わず、研修管理システム（eラーニング）やYouTube、Web会議システムを活用した動画視聴型又は双方向型の新たなスタイルで研修を実施しました。

今後改善しなければならない課題は山積していますが、「できない、やらない」ではなく、「どうしたらできるか」を考え、様々な視点で試行錯誤することの大切さに改めて気づかされました。

以上のように、例年とは異なる研修スタイルでしたが、皆様の多大なご理解とご協力があり、幸いにも新型コロナウイルス感染者が出ることなく終えることができました。引き続き感染防止対策を講じながら、研修の質を落とさず、有用な情報や意見を取り入れ、さらに充実した研修を追求していければと思います。



飛沫防止スタンドをいただきました

令和2年7月22日（水）にユニオンソーシャルシステム株式会社様より飛沫防止スタンド60セットをいただき、受託研修等で活用させていただいています。

山形県産杉の木を加工した飛沫防止スタンドをピース河北、ピース楯岡の利用者から飛塚理事長に手渡されました。

ユニオンソーシャルシステム株式会社様、誠にありがとうございました。



◎各施設の取組

～新しい生活様式を踏まえた取組～



「福寿荘」

「福寿荘の新しい生活様式」

荘長 高橋 千春

福寿荘では、新しい生活様式として、ご家族のご理解とご協力をいただきながら面会される方からは健康チェック、手洗い、消毒、検温はもちろんですが、飛沫防止シートを設置し短時間での面会としています。また、職員が使用する職員出入口のドアノブ、パソコン電話等の消毒作業や更衣室のこまめな換気、事務室及び援助員室においては、手作りの飛沫防止パネルを設置するなどの感染予防対策を行っています。利用者の皆さんについては手洗いや消毒の徹底、「密」を避けた食席配置など工夫しながら対応に当たっています。利用者の皆さんの安全を守るため、引き続き、感染症対策に細心の注意を払いながら、業務に努めてまいります。



「吹浦荘」

「吹浦荘の新型コロナウイルス感染症対策」

荘長 加藤 春彦

吹浦荘では新型コロナウイルス感染拡大防止のため、職員は毎日検温や手指のアルコール消毒、マスク着用の徹底で利用者支援を行っています。また、利用者の皆さまも触れる手すりやドアノブ、電灯スイッチ等は1日に複数回、職員が触れるパソコンや電話などは使用のたび消毒しています。

面会に関してもご家族の皆さまにご理解とご協力をいただき、面会場所を限定し、短時間での面会を実施しています。

職員や利用者が感染した場合に備えた訓練や研修会を実施し、利用者及び職員の家族の健康と命を守るという強い使命感を持ち、職員一同行動していきます。



「泉荘」

「楽しく運動して心身リフレッシュ!!」

荘長 今野 博子

令和2年は新型コロナに右往左往しながら、基本的な対策をして「新しい生活様式」を荘全体で形作り、感染予防に努めてきました。

それと共に病気に負けない体づくりを目指して、健康運動を継続してきました。職員は毎日の朝会後の運動の他、職員安全衛生の健康づくり講習会も3回実施し、延べ30人が受講しています。また、全国健康保険協会主催の事業所訪問型健康づくりセミナーのマインドフルネスヨガを体験し、心身リラックスしました。利用者は、合同朝会、チーム朝会、14時の運動の時間で口腔体操とリズム体操を継続し、今はダンス「パプリカ」やダンベル体操「与作」で盛り上がっています。

体を動かすことで、血液の流れが良くなり、筋力アップ、気分爽快に繋がります。こんな不安な時だからこそ、みんな笑顔で楽しく運動を続けていきたいものです。



「慈丘園共同生活事業所」

「コロナの収束を願って」

所長 加藤 京子

当事業所の利用者は最高年齢が79歳、平均年齢は66歳、そして平均支援区分は4.2と重度化と高齢化が進んでおり、持病のある方も多数いらっしゃいます。コロナ禍で、新しい生活様式をどこまで理解できるのか不安を抱えたままスタートしました。検温を含めたバイタルチェックの継続、手洗いや手指消毒を行うと共に人との触れ合いが好きな利用者同士の3密防止も含めて、一緒にいる空間の換気に努めています。帰省や外泊や余暇外出、さらに面会も制限しています。様々な制限の中、年始では電話での面会を活用しご家族に電話して声を聴くことができるとも感激していました。また、誕生日会やクリスマス会でのプレゼント交換や出前を取るなど、ささやかですが利用者の笑顔作りに頑張っています。利用者を守るため、職員の感染防止の徹底は今以上に注意を払って参ります。



「サポートセンターおきたま」

「感染症防止の取り組み」

所長 深瀬 善信

サポートセンターおきたまでは、相談・就業支援・多機能型と3つの事業を行っています。新しい生活様式に対応して、来所された方には、手指消毒と検温をお願いしています。また、多機能型の利用者の皆さんには、併せてマスクの着用をお願いし、作業時には、密にならないように間隔を空けることを徹底しています。また、相談と就業支援では、事業所側から訪問することも多いのですが、その際には、訪問が可能か、事前確認をしてから実施するようにしています。従前とは、一転した対応をせざるを得ないため、戸惑いもありますが、これからは感染予防対策を徹底していきます。



事務局移転のお知らせ

この度社会福祉法人山形県社会福祉事業団法人本部事務局は、令和2年11月20日より下記の住所へ移転しました。

【新住所】

〒990-0057

山形県山形市宮町一丁目3番36号

※電話番号及びFAX番号は変更ありません。

《アクセス》

JR「北山形駅」から徒歩10分

JR「山形駅」から車で10分

バス停「宮町」から徒歩3分



寿海荘営業終了のお知らせ

寿海荘は令和3年3月16日のチェックアウトをもちまして営業を終了することとなりました。

お越しいただいた皆様の温かいご支援の中営業してこられましたことを心より感謝申し上げます。営業終了までの間、心を込めて精一杯務めさせていただきます。

皆様のお越しを職員一同心よりお待ちしております。



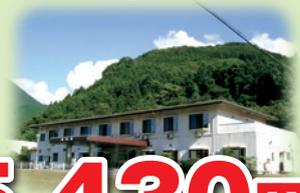
ホームページリニューアル

くわしくはHPでご確認ください。

<https://jyukaiso4173.wixsite.com/jyukaiso>



まごころ料理で心もあったか



1泊2食付き

60歳以上の方・母子(寡婦)・
父子・障がいのある方

一般の方

5,430円 (消費税・入湯税込)

6,370円 (消費税・入湯税込)

掛け流しの温泉で
ゆったりのおんびり
疲れを癒やす



Twitter
始めました



寿海荘

あつみ温泉

山形県福祉休養ホーム

〒999-7204 山形県鶴岡市湯温海字湯之里88-1

お問合せ(ご予約) ☎ 0235-43-4173